

第6学年 学級活動指導案

日時 平成18年10月13日(金) 5校時
児童 男19名 女17名 計36名
指導者 和田 幸司

1 題材名 「思い出を残そう」

2 題材について

(1) 題材設定の理由

6年生という学年は、最高学年ということ意識し、学校の柱となって活躍したり、下学年のお手本になって行動したりしなくてはと、考える時期である。さらに、2学期に入ると卒業についても徐々に関心を持ち始める時期でもある。

そこで、今回は、学級の子どもたちからの「卒業までに、何か思い出を残したい」という呟きを受けて、「卒業を迎えるにあたっての思い出を残そう」のアンケートを取り、題材を決めることにした。アンケートには、「小学校生活の思い出をタイムカプセルに残したい」という子どもたちの強い願いが多く寄せられた。思い出のいっぱい詰まったタイムカプセルを作ることによって学級の連帯感と団結力がさらに高まるのではないかと考え、この題材を設定した。

(2) 児童について

学級の子どもたちは、個性的で明るく活発な子が多い。「修学旅行を成功させよう」や「ボール遊びの約束をつくろう」、「思い出のページを残そう」などの話合いを通して、より充実した取り組みにするには、どのような方法がよいかを考えるようになってきている。さらに、委員会の活動や縦割り班活動を通して、進んで全校を動かしたり、全校をまとめたりするやりがいや喜びを感じられるようになってきた。1学期の終り頃には、残り少ない小学校生活において、卒業までにみんなで思い出を残したい、思い出を作りたいなどといった意識も出始めてきた。

話合いにおいては、話合いカードをもとに自分の考えを理由をつけて進んで発表するようになってきている。さらに、お互いの意見を聞きながら高めあえるようになってきている。しかし、発言に抵抗のある子どもは、自分の考えがあっても友だちの考えに追随してしまい、考えを広げたり深めたりしようとする姿勢に欠ける面が見られる。

(3) 指導にあたって

小学校生活の思い出を残すためのタイムカプセルを作る上で「みんなで協力して作る物を考えよう」について話し合っていく。そこで、事前活動では、個人的に思い出を残すものと学級みんなで作り上げていく物とははっきりさせる。みんなで作り上げて入れる物は将来見た時に、小学校の仲間との楽しかった思い出が振り返れる物を作り上げるということを6年生全員が共通理解するようにする。

本時の話合い活動では、事前に掲示コーナーに考えと具体的な内容を提示し、自分なりの考えや質問を前もって持てるようにする。出し合いでは、議長からの紹介とし、比べ合いや学び合いでの時間を十分に確保するようにする。また、学び合いでは、「みんなで協力して作る物を考える」を、常に意識させる。さらに、子どもから出されたいくつかの考え毎に、よりよい意見や考えを付け足しながらまとめ上げるようにするために、友だちからの考えの中にいいものがあった場合は、メモをとるようにさせ、自分の考えを高める上での手だてとしていきたい。

事後活動では、卒業までの日程を確認しながら、計画・準備・実行ができるようなチェック表や役割分担表を作成し、思い出のたくさん詰まったタイムカプセルを作り上げたい。

3 指導の目標

「思い出を残そう」の活動を通して、友だちの考えのよさを認め合うことができるようにする。さらに、話し合いを通して決定したことに取り組むことで、学級のさらなる連帯感や団結力を深められるようにする。

4 指導計画

		活動内容	期日	参加児童	指導上の留意点
自ら考え	事前活動	1 卒業までの思い出作りアンケート実施	7月25日 帰りの会	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の学級のよさを卒業しても思い出として残しておけるものはないかを意識させる。 ・思い出や今の思いが残せるように助言し、意識付けを図る ・タイムカプセルを作る意義を話し、意欲を高めるような働きかけをする。 ・話し合い活動で意見が出せるように条件と考えを設定する。 ・今後の活動にあたっての、期日と条件を提示し、意欲付けを図る。 ・掲示コーナーに考えと具体的な内容を提示し、事前に考えをまとめたり、質問を考えたりできるようにさせる。 ・話し合いの流れも予想し、細かく打ち合わせをする。
		2 問題の発見 ・学級執行部から卒業までの思い出作りをするにあたって、アンケートの中で一番多かった物を取り上げ、みんなで作っていきたくいと提案する。	9月15日 帰りの会	学級執行部 全員	
		3 議題の選定 ・アンケート結果から議題について検討し、取り扱いを決める。 ・小学校生活の思い出を残すことができるものを取り上げる。	9月25日 放課後	計画委員会 学級執行部 提案者	
		4 議題の決定 ・決定した提案理由を明らかにし、共通理解を深める。 ・卒業までの日程を確認し、計画を立てる。	9月26日 帰りの会 放課後	提案者 計画委員会 全員	
		5 話し合いカードの記入 ・みんなで作り上げて入れる物について考えを具体的に記入する。	10月5日 宿題	全員	
		6 話し合いの計画 ・司会グループの役割分担をする。 ・計画委員会と共に条件を決める。	10月10日 ～12日 放課後	提案者 計画委員会	
伝え合い	話し合い活動	7 話し合い 「タイムカプセルに入れる物を決めよう」	10月13日 5校時	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・進行の仕方や発表の仕方について、適切な指導をしていく ・話し合いカードをもとに発表させる。
	高め合い	事後活動	8 事後活動 ・決まった内容に沿ってみんなで話し合い協力して準備をし、実行する。	10月16日 ～12月	全員
9 ふりかえり ・活動全体をふりかえり、次の活動への意欲を持つ。			12月	全員	

5 評価規準

【関心・意欲・態度】

友だちと協力して思い出を残そうの取り組みを計画・準備・実行することで、友だちのよさに気づき、仲間意識を高めようとする。

【思考・判断】

提案理由や条件に沿って考えたり、友だちのよさに気づいたりして、よりよい内容はどれか判断する。

【技能・表現】

自分の考えを理由を明確にして分かりやすく話し、友だちの考えをしっかりと聞いたりすることができる。

【知識・理解】

話合いの進め方やまとめ方が分かる。
話合いの結果を踏まえた実践活動の取り組み方を理解している。

6 本時の指導

(1) ねらい

「思い出を残すためにタイムカプセルに入れる物を決めよう」話合いで、みんなで協力して作り上げられる物の考えを発表したり、友達の考えを聞き合ったりしながら、タイムカプセルに入れる物にはどんな物が適しているかを決めることができる。

(2) 展開

	活動の流れ	児童の活動	支援(・)と評価()
つ か む 5 分	1 はじめの言葉 2 役割紹介 3 議題の確認	・副議長が開会する。 ・司会グループが自己紹介する。	・はっきり話させる。 ・議題について全員が理解できるようにする。 ・話合いの核心部分なのでしっかりつかませる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「タイムカプセルに入れる物を決めよう」</div> 4 提案理由の確認 5 話し合うこと・条件 6 話合いのめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">みんなで協力して作れる物なのかと、思い出がふりかえられる物かどうかを考えながら話し合おう。</div>	(小学校生活の楽しい思い出を残しておき、将来みんなで見て6年生の時の思い出をふりかえりたいから。) ・タイムカプセルに入れる物について話し合う ・みんなで協力して作る物を話し合う ・1つに決める ・懐かしく思える物 ・議長が話合いのめあてを確認する。	・提案理由を全体のものとするために教師が補足する場合もある。 ・タイムカプセルの大きさや、品数、開封日などについて再確認する。 ・分かりやすく話させ、しっかりと聞かせる。 めあて・議題・内容についてつかむことができたか。【行動観察】
	7 話合い ・出し合い 個人としてそろえて入れる物意外の中身について話し合う。	・事前に出されている考えを議長が確認する。 ・みんなで協力して作り上げたビデオを入れる。 ・学級の歌をみんなで作り入れる。 ・運動会で作った旗を入れる。 ・写真を入れる	

<p>話し合い 30分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比べ合い ・学び合い ・まとめ合い ・決まったことの確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを具体的に説明する。 ・みんなで作り上げて入れる物についてもう少し詳しく知りたいことを質問する。 ・入れる物について、自分の考えを修正したり深めたりする。 ・賛成・反対意見を理由と共に話す。 <ul style="list-style-type: none"> ・タイムカプセルを開けた時に、一人一人の持ち味を生かしながら、みんなで協力して撮ったビデオがあると、小学校のときの思い出をふりかえることができるから。 ・時間もかからないし、みんなで協力できるので、5年生のときにやった人文字と同じような写真を入れるがいいと思います。 ・意見の多く出されているものについて詳しく話し合う。 ・出された意見を比較検討し、自分の考えを修正したり、深めたりする。 ・「みんなで作り上げていく物」のねらいに沿って自分の考えを修正、発展させ集団解決をする。 ・ノート書記が決まったことを知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを具体的に話させる。 ・提案理由や条件に沿っているか考えさせる。 ・お互いの意見を聞きあい、自分と同じ考えなのかどうかを比べながら考えさせる。 ・それぞれの意見のよさ（賛成意見）や問題点（反対意見）、解決の方法について話し合わせる。 ・より提案理由に合ったもの、みんなが納得できるものにまとめていけるようにする。 ・できるだけ話し合いによってまとめさせる自分の考えを自分で伝え合うことができたか。【発表・行動観察・話し合いカード】みんなの意見を聞いて話し合いに参加できたか。【発表・行動観察・話し合いカード】
<p>ふりかえる 10分</p>	<p>8ふりかえり 9反省と感想発表 10先生から 11終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いカードに記述する。 ・めあての達成度を確認し、感想を発表する。 ・先生の話聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想に記述する観点（話し合いについての自己評価・今後の活動意欲）を明らかにする。 ・発表を通じて、お互いのよさを認め合えるようにする。 ・はっきり話させる。 ・めあて、話し合いの内容、態度などを評価し、実践活動への意欲を促したり、次時の活動へつなげたりする。 めあてが達成できたか。【発表・話し合いカード】話し合いの感想や今後の活動への意欲を持つことができたか。【発表・話し合いカード】

(3) 板書計画

<p style="text-align: right;">第8回 学級会 議題 思い出を残すためにタイムカプセルを作ろう。</p> <p style="text-align: right;">提案理由 小学校生活の楽しい思い出を残しておき、将来みんなで見て6年生の時の思い出をふりかえりたいから。さらに、学級としてまとまると思っているから。</p> <p style="text-align: right;">話し合いのめあて みんなで協力して作れる物なのかと思いがふりかえられる物がどうかを考えながら話し合おう。</p> <p style="text-align: right;">みんなの考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで協力して作り上げたビデオを入れる。 ・学級の歌みんなで作り入れる。 ・運動会で作った旗を入れる。 ・写真を入れる。
